

サンコー 未来★夢通信

一月・四月・七月・十月
年四回発行しております。



新年のご挨拶

代表取締役社長 細川康二

新年あけましておめでと〜ごぞいませ。
旧年中は多大なるご支援・ご協力を賜り弊社を代表して心より感謝申し上げます。
昨年は弊社の属する建設業界は大きな変革がありました。いわゆる2024年問題です。国内の大部分の業界が労働時間の短縮を目指す中で、建設業界も法改正を機に労働時間の短縮を目指した2024年だったと考えます。各社がITを活用し効率的に業務を遂行する工夫をし、問題に對峙し改革を進めていったと予想します。しかし、建設業界には都心に会社を置く事が出来ない業界が多くあります。その為、移動時間が建設作業所での実務時間を減らす事に繋がりました。様々な改善を各社がせざるを得ない状況となり、業界全体が変わり始めた2024年でありその流れは2025年も続くと考えられます。その中で弊社は今年創業50年を迎える事が出来ました。全てお客様や協力業者様のご援助があつての50年だと考えております。その節目の年である2025年は引き続き、多くの問題が

続きます。前述の労働時間問題の他、人手不足、建設資材高騰、超高齢化、事業継承などの問題も続きます。弊社では様々な問題が発生する中、経営理念「住環境資材を通してお客様のお役立ちと地域社会に貢献する」を実践する為に、昨年同様、全社員が一丸となって業界に貢献できる社会であるように実践して参ります。その思いを「50年の感謝を、革新的な挑戦でこれからも地域社会に貢献し続けよう」というスローガンを込めました。今年一年このスローガンと共に、皆様と共に地域社会をよりよくする為に働いて参ります。
弊社の経営ミッションである「知識で業界に貢献する」の思いを旗印に、今まで同様、知識集団情報提供集団としてのお役立ちを、今年も実践させて頂きます。皆様に、そして業界に貢献できるように努める為に、全社員、力を合わせて信頼にお応え出来るよう実践を重ねて参ります。
本年もこれまで同様の ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。
今年も発生する様々な問題を皆様と一緒に解決して行きつつ、皆様のご健康とご多幸を祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。

元気!! お得意様紹介

山本社長! ご協力ありがとうございました!

Q お客様の会社名、お名前

A 株式会社山本建材 山本 一統 様

所在地: 名古屋市西区

Q 取り扱い製品やサービスを教えてください。また、特に人気・メインになるものは何でしょうか?

A 砂・砂利などの骨材、セメント・生コンクリート、二次製品、補修材などの販売です。また掘削埋戻や造成工事、外装・解体工事なども行ないます。

Q 貴社の雰囲気について、どのような特徴があると考えておられますか?

A 経営ビジョンの「お客様、社員・社員の家族が笑顔になれる会社を目指す」が表す通り、アットホームで親しみ易い雰囲気です。

Q 貴社ならではの強みや特徴は何でしょうか?

A お客様ごと土木・建築に関わらず、また数量やニーズを過不足なく提供できる様、きめの細かいサービスを心がけています。2tから10tまで多岐の車両を有して配送能力があること、グループ会社として不動産や産業廃棄物処理など種別ごとのサービス展開がある等、サービスの広さが強みです。

Q 今後、挑戦してみたい事についてお話しいただけますか?

A M&Aで事業の拡大を目指しています。また昨年の5月より、イベント・キャンペーン・セミナー等発信する名古屋メディア事業「イベキャン+」をWebサイト・インスタグラムで展開しています。異業種参入の挑戦中ですが、各方面へ広報力を手助けしたいと考えています。

Q ご趣味を教えてください。

A ゴルフ、グルメ、ランニング等。家族での旅行中、8マイルのチャリティーマラソンに出ました。山梨県へ旅行中、家族の寝ている時間からランニングに出かけ、河口湖と富士山を堪能したりもしました。

Q お仕事をされる上で、特に大切にしているポリシーや価値観を教えてください。

A 経営ビジョンの「お客様、社員・社員の家族が笑顔になれる会社を目指す」ために、経営理念である「豊かな心で安全、快適を創造する」を判断基準にしています。

Q 影響を受けた人物や尊敬する人がいれば教えてください。

A 日ごろから全ての人に尊敬の念を抱いています。自分のできること、能力には限界があり、皆さんが自分にはないものを持っているからです。特別にあげるのであれば、創業し今の会社の礎となった祖父です。



本年も
よろしくお願
い
申し上げます



2025年 スローガン決定

2025年スローガンは、名古屋営業所 所長代理の平林祐汰さんの「50年の感謝を、革新的な挑戦でこれからも地域社会に貢献し続けよう!」に決定いたしました。

大建機のハイキング(産業施設見学)に参加してきました

代表取締役副社長 細川真

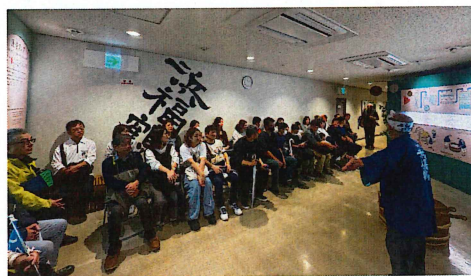
弊社が所属している業界団体「一般社団法人大阪建設機械器具協会」の第48回大建機ハイキング(産業施設見学)に社員さんと共に参加してきました。最近では季節もようやく一歩前へ進んだように感じますが、今回のハイキングは季節外れの暖かさの中、2024年11月17日(日)に開催されました。参加者は会員企業6社で、大人・子供合わせて33名と新聞社1社1名の合計34名でした。

行き先は、神戸・灘の酒蔵巡りで、試飲は勿論のこと、各施設ではガイドさんによる説明もあり買い物も楽しむことが出来る事前



情報があり、ワクワク感いっぱいでハイキングのスタートでした。

まずは阪神魚崎駅に集合し、そこから徒歩で住吉川の遊歩道を散策しながら番目の目的地である菊正宗酒造記念館へと向かいました。1659年の創業時から受け継がれる「酒造りの原点」を紹介する施設で、酒造展示室では、国指定重要有形民俗文化財の酒造用具を見学し、「伝承の生酒造り」を体感しました。見学後は、試飲をしたり、酒蔵ソフトクリームを味わって次の目的地の浜福鶴吟醸工房へGO!GO!明治初期創業の老舗酒造元で、1995年の震災後は見学酒蔵として再生し、多くの人に日本酒の魅力を伝えている施設です。歴史ある酒造りの工程をガラス越しに見学でき、もろみが発酵する音が聞け



たり、香りを嗅いだりというコーナーも設けられていました。

新鮮な生酒の試飲コーナーや、オリジナルの加工食品や酒器も多数販売しているののでお土産購入にも最適でしたよ。

そして最後は櫻正宗記念館内の櫻宴で大懇親会(昼食会)！記念館の2階にありながら風情ある中庭に面し、落ち着いた和の雰囲気がある桜の花びらを模した器に逸品が並ぶ料理で、日本酒に合う和食をゆつくり味わうことが出来ました。これにて今回のハイキングは終了です。

今回見学した施設以外にも近くには「菊正宗さかづき展示館」や「白鹿記念酒造博物館」などの酒造記念館がありますので、行ってみる価値大ですよ。



自己紹介

本社 経理 北尾 祐子

はじめまして、11月1日に入社いたしました、北尾祐子と申します。事務職中心に他社でキャリアを積んできました。趣味はカナダのワーホリ後、海外国内旅行、神社仏閣巡り、読書、演劇を観に行ったり、パン講師を取得したりなどなど、幅広いジャンルで広く浅く長く続けています。新しい職場の特徴を掴み柔軟性を持ちながら仕事を覚え、皆さんと共に頑張り、成長していけるよう努力していきたいと思っていますので、どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



おすすめ商品紹介

和歌山営業所 辻 朋行

日頃より多大なるご愛顧を賜り、まことにありがとうございます。早速ですが、商品の紹介をさせていただきます。左官道具洗いブラシ(爪付き)、マイティ手帚です。道具洗いブラシは、持ち手が大きくしっかりと持ちやすく、先には爪が付いて頑固な力加りと掻けるようになっています。マイティ手帚は、柄がアルミで軽く、毛先の部分が細かく先割れになっているので細かいゴミもしっかりと掃くことが出来ます。他にも色々取り扱っておりますので、是非御問ひ合せ頂くと嬉しく思います。



編集後記

大寒の候 皆様におかれましては、お元気で新年をお迎えのことと存じます。今回もたくさんの方のご協力に感謝申し上げます。皆様、ありがとうございます。春を待ちわびつつ、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

本社 総務部



土佐稲荷神社にて

サンコ一物産株式会社



私たちは、住環境資材を通じてお客様へのお役立ちと地域社会に貢献します。私たちは、お客様に優れた品質の商品・サービスを提供し、より豊かな暮らしを応援することで、地域社会のパートナーになることを目指します。